

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-Ncb\_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大谷学園泉ヶ丘キャンパス計	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市南区三原台2丁2番1、2	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	1,050 人
気候区分		年間使用時間	1,800 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年2月7日
敷地面積	15,503 m <sup>2</sup>	作成者	國本・川口
建築面積	5,273 m <sup>2</sup>	確認日	2012年2月24日
延床面積	14,142 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 3.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 85%  
③上記+②以外の 85%  
④上記+ 85%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 4.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 5.0

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教師と生徒のコミュニケーションを誘発する空間構成を創出し、きめ細かい指導を可能にする。</li> <li>●自然の豊かな環境を活かし自然と共に生きることが日常的に体験できる学校を実現する。</li> </ul>	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●既存建物解体時に発生する廃棄物等を砕石等に再利用している。</li> </ul>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●すべての普通教室を南面するように配置することで、採光環境を向上するとともに西日による熱負荷を軽減。南面開口部にはLow-Eガラスを採用し外皮性能を高め、自然換気に適した窓配置により通風を確保。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●階高は3.8~4.0mと比較的ゆとりのある計画とし、すべての教室の天井高さを2.7m以上確保した。外壁には耐用年数の長いタイルを採用し、内装計画については模型やインテリアパースにより意匠性・機能性を確認しながら計画を進めた。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●外皮性能の向上によってPAL低減率35%以上確保するだけでなく、トップライトやソーラーチューブなど自然エネルギーの直接利用も積極的に採用している。</li> <li>●高効率機器の採用及び省エネ制御を導入し、ERR(一次エネルギー消費低減率)23.3%を実現。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●節水型器具の使用、自動灌水設備への雨水利用、リサイクル材・再生可能部材を積極的に採用し、資源に配慮した計画としている。</li> </ul>
	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●敷地周辺の生物環境に関する立地特性を把握し、その特性に基づいて敷地内の生物環境の保全と創出に係る計画方針を決定した。またグラウンドを全面芝生化することで、外構緑化指数を50%以上確保している。</li> </ul>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●流体シミュレーションを行い、計画建物が敷地周辺に与える影響を予測し、計画を進めた。また屋上緑化やグラウンドの芝生化により、敷地外への熱的な影響を低減している。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)大谷学園泉ヶ丘キャンパス計画	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市南区三原台2丁2番1、2番5	3.2	S
	主用途/延床面積	学校 / 14,142.05 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	
省エネ対策	4	
みどり・ヒートアイランド対策	5	
安全快適な暮らし	4	

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減		評価項目	スコア	評価点
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.5	3
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	4.0	4
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	4.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.4		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	4.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.8		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	5.0	5
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	5.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	4.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	4.0	4
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	5.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	5.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項

## 特に配慮した事項

- 教師と生徒のコミュニケーションを誘発する空間構成を創出し、きめ細かい指導を可能にする。
- 自然の豊かな環境を活かし自然と共に生きることを日常的に体験できる学校を実現する。